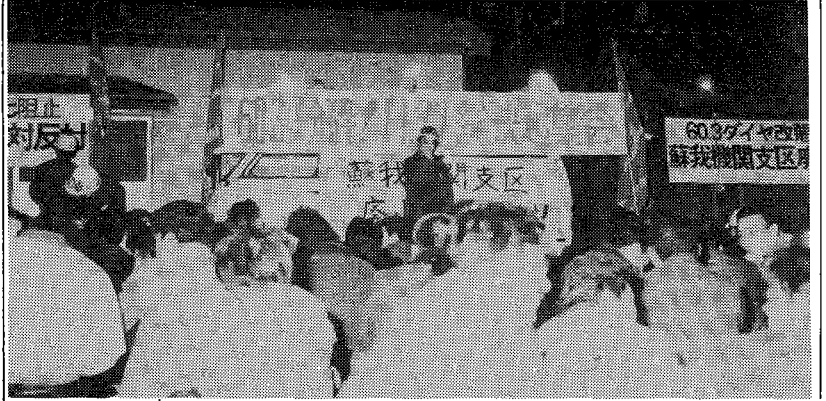


国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二九三五六・公衆〇四七二二）七二〇七

「60・3」粉砕総決起集会
11/29 青年部、蘇我機関支区で



自分達の手で作った横断幕を背に、断固たる決意を表明する蘇我支部・石川青年部長。

11月29日、17時40分より蘇我機関支区において「60・3ダイ改阻止、青年部総決起集会」が開催された。「60・3」粉砕、蘇我廃止絶対反対、10万人首切り粉砕にむけ、全支部より一五〇名を越す青年部員が結集した。この集会の3日前に、全国一万五千人、千葉の動力車職場だけでも三〇九人という要員削減―蘇我廃止・成田縮小―15倍近い労働強化を強制する「60・3」の各職場毎の削減内容が提案されており、集会は緊迫した空気につつまれ、はげしい怒りの第一波闘争となつて爆発した。千鉄管理局の白腕章（局課員）どもが心配顔で「偵察」にやってくるなかで、これみよがしのとびきり意気高い怒りのシユプレヒコールを叩きつけてから開始された集会は、終始寒風をふきとばす熱気をもって進められ、最後に構内デモで機関区を席巻し、かけ声とシユプレヒコールと団結ガンバローの声が冬の夜空につきささった。集会には全国から多くの激電・メッセージが寄せられた。

青年部通信員・発

千鉄管内の動力車職場では蘇我機関支区が対象となることが明らかにされた。

青年部はただちに蘇我支青を中心にして徹底的に討論を深め、「10・10」七割動員を貫徹するなかで全員の主体的決起・総行動、不屈の団結力をつくりあげ、この日の集会の成功をかちとってきた。

今日、国鉄労働運動解体攻撃の激しさのなかで、社・共既成指導部の総屈服・総転向はとどまるところを知らず、労働者は敗北主義にひきずりこまれつつある。しかし、全国のどの職場でも全ての仲間が知っているように、10万人首切り攻撃―分割・民営化攻撃―に対して現場の労働者の怒りは充滿している。とりわけ、この間の「臨調攻撃」に完全に屈服し、率先して臨調・自民党・国鉄当局の先兵となつて国鉄労働者を敵に売り渡しているフアシスト「動労―本部」革マルへの憎しみは深まるばかりである。

まさに今、真に労働者階級の立場にたつて日本の進みゆく歴史に責任をもつとする指導部が登場し、血を流すことをもおそれず正しい路線と勝利の展望と方針をはっきりと掲げて闘うならば、どんなに攻撃が激しくとも労働者はかならず決起することを、この集会是示しぬいた。

「60・3」粉砕を通して、

第二の「81・3」を準備しよう

―田中青年部長が基調報告―

この日、蘇我支青21名は、乗務中以外の全員が参加し、「廃止絶対反対」を宣言したのだ。集会で発言した全支部の青年部代表は、口々に中曽根や国鉄当局をそしてとりわけ動労「本部」革マルに対

勝利／闘争／ジェット／三里塚

臨調・行革粉砕！

「廃止、縮小攻撃粉砕の先頭
にたつ」―蘇我・成田両支部
青年部長が決意表明―

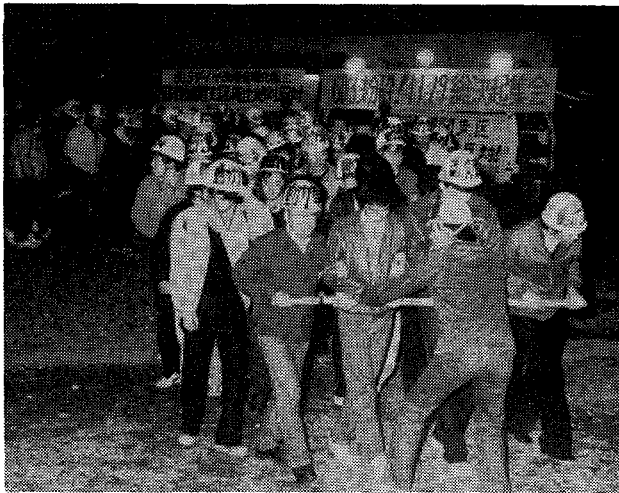
集会で特別報告にたった蘇我支部・石川青年部長は、「この間、蘇我支部青年部は、今までにない団結力・動員力をもって全力で闘っている。10・10三里塚には、独自の横断幕をもって登場、全国の仲間にはビラをまいて廃止反対の支援要請をおこなった。また、11・10にもビラまきをおこない、全員の総決起・総行動で闘ってきた。更に闘いを強化して廃止攻撃を粉砕する」ときっぱりと提起した。続いて、特別報告の二番目にたった成田支部青年部・川越書記長は、「この間の闘いで、当局と動労革マルが一体となつて策動した、成田運転区廃止」攻撃を事前に粉砕してきた。さらに、この地平の上に「60・3」での縮小攻撃をも粉砕する。この成田支部破壊攻撃は、中曽根反動内閣―国鉄当局―動労革マルの一体となった三里塚闘争庄殺攻撃と一体のものであり絶対に許せない」と訴えた。

勇気をもつてたち上れ！

「敗北主義」をふっとばせ！

この日の集会是、三カ月近くにわたる青年部のとりくみ、とりわけ蘇我支部青年部の目を見はるような主体的な総決起によって準備され勝ちとられた。

すなわち、8月29日、国鉄本社は、全国の一〇一基地の統廃合計画を発表し、



寒風をふきとばし、機関区構内を意気高くデモ。

する激しい怒りをあらわにし、蘇我の仲間と共に「60・3」粉砕に決起することを表明した。

「基調報告」にたった田中青年部長は「動労千葉は、『60・3』の闘いの過程を通して、第二の『81・3闘争』を準備する。真に中曽根を打倒し、三里塚―国鉄決戦に勝利するために、今、何が求められているのか。屈服・妥協・敗北の道組か、犠牲をおそれぬ闘いで血路をきり開くのか。全青年部員が真剣にこの課題と対決して、動労千葉千三百の、更には全国の国鉄労働者の最先頭で決起しよう」と訴えた。

三里塚―国鉄決戦への

総決起のときがきた

「60・3」粉砕の闘いはいよいよ始まった。青年部は、この日の総決起集会で闘いの陣形を構築した。この第一歩の勝利をひきつぎ、更に年末―来春「60・3」粉砕の闘いに総決起しよう。来春「3・24」三里塚七割動員を実現し、三里塚―国鉄決戦の猛爆発をかちとろう。

強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！